

安全データシート

作成日: 2013年3月15日

改訂日: 2022年4月1日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名)
会社名
住所
電話番号

2-アミノ-2-メチル-1-プロパノール
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
AA0929

整理番号

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性
健康に対する有害性

引火性液体: 区分4
急性毒性(経口): 区分5(国連分類)
皮膚腐食性/刺激性: 区分2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分2A
皮膚感受性: 区分外
水生環境有害性 短期(急性): 区分3
水生環境有害性 長期(慢性): 区分3

環境に対する有害性

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

警告

可燃性液体
飲み込むと有害のおそれ(経口)
皮膚刺激
強い眼刺激
水生生物に有害
長期的影響により水生生物に有害
【安全対策】
裸火や高温のものから遠ざけること。-禁煙。
取扱い後はよく手、眼を洗うこと。
保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
環境への放出を避けること。

注意書き

【応急措置】
火災の場合: 消火に適切な消火剤を使用すること。
気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
【保管】
換気のよい場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名
別名

混合物(水溶液)
2-アミノ-2-メチル-1-プロパノール
2-アミノ-2-メチルプロパン-1-オール
2-アミノイソブタノール
2-ヒドロキシメチル-2-プロピルアミン
 $\text{CH}_3\text{CNH}_2(\text{CH}_3)\text{CH}_2\text{OH}$
CAS RN:124-68-5 (2-アミノ-2-メチル-1-プロパノール)
CAS RN:27646-80-6 (2-メチルアミノ-2-メチル-1-プロパノール)
2-アミノ-2-メチル-1-プロパノール 83%以上
2-メチルアミノ-2-メチル-1-プロパノール 7%未満

化学式

化学物質を特定できる一般的な番号

濃度又は濃度範囲(含有率)

官報公示整理番号（化審法/安衛法）	水 7%未満 (9)-118（2-アミノ-2-メチル-1-プロパノール） (2)-3981（2-メチルアミノ-2-メチル-1-プロパノール） 2-メチルアミノ-2-メチル-1-プロパノール
GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物	
4. 応急措置	
吸入した場合	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。 水と石鹼で洗うこと。 汚染された衣類を脱ぐこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	直ちに医師に連絡すること。 口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 直ちに医師の手当を受ける。意識がある場合には、食塩水等を飲ませて吐かせる。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状放水、水噴霧
火災時の措置に関する特有の危険有害性	極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。 消火後再び発火するおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。 燃焼すると分解し、有毒なヒューム(窒素酸化物など)を生じる。中程度の強さの塩基である。強酸、強酸化剤と反応する。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 容器が熱に晒されているときは、移さない。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	全ての着火源を取り除く。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	不活性材料（例えば、乾燥砂又は土等）で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。
二次災害の防止策	危険でなければ漏れを止める。 すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体排気)	作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
安全取扱い注意事項	皮膚との接触を避けること。 眼に入れないこと。 環境への放出を避けること。
接触回避	強酸、強酸化剤
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保管	
安全な保管条件	換気のよい場所で容器を密閉して保管する。 消防法の規制に従う。
安全な容器包装材料	ガラス
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度等	
管理濃度	
日本産業衛生学会	

ACGIH	
設備対策	取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。作業場近くに手洗等の設備を設ける。
保護具	
呼吸用保護具	適切な呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	保護手袋を着用する。
眼の保護具	保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	作業着を着用する。
特別な注意事項	該当情報なし。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	液体
色	無色
臭い	アミン臭
融点/凝固点	-11°C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	100 - 165.5°C
可燃性	該当しない。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	85.6°C
自然発火点	437.7°C
分解温度	該当情報なし。
pH	11.3 (1%水溶液)
溶解度	水に混和する。
n-オクタノール/水分配係数	-0.63
蒸気圧	0.34mmHg (20°C)
密度及び/又は相対密度	0.949 (25°C/25°C)
相対ガス密度	3.04
動粘性率(粘度)	148cp (27°C)
粒子特性	該当しない。
10. 安定性及び反応性	
反応性	法規制に従った保管及び取扱においては安定である。
化学的安定性	高温により分解する。空気中から二酸化炭素を吸収する。二酸化炭素と反応して炭酸塩類を生成することがある。中程度の強さの塩基である。強酸、強酸化剤と反応する。
危険有害反応可能性	日光、熱、裸火
避けるべき条件	強酸、強酸化剤、アルミニウム、亜鉛、銅、銅などの合金、ハロゲン化炭化水素
混触危険物質	窒素酸化物
危険有害な分解生成物	
11. 有害性情報	
急性毒性	経口: LD ₅₀ ラット=2900 mg/kg bw (国連; 区分5、JIS; 区分外)
	経皮: 該当情報なし。(分類できない)
	吸入: 該当情報なし。(分類できない)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ウサギの試験でsevere (DFGOT vol. 9 (1998)) の記載があり、回復性は不明だが、EUはR38に分類している。(区分2)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ウサギの試験でcorrosion (DFGOT vol. 9 (1998)) の記載による。(区分2A)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	皮膚感作性: モルモットによるBuehlertestで陰性 (DFGOT vol. 9 (1998)) の記載による。(区分外)
生殖細胞変異原性	該当情報なし。(分類できない)
発がん性	該当情報なし。(分類できない)
生殖毒性	該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	ラットを使用した8週間の混餌投与試験において1355mg/kg/日の投与量で疲労、皮膚疾患等が見られた。
	ラットを使用した90日間の経口投与試験において1100mg/kg/日の投与量で口、鼻からの出血、ヘモグロビン、ヘマトクリット値の低下が見られた。イヌを使用した4週間の混餌投与試験において雌の122mg/kg/日の投与でヘモグロビン、ヘマトクリット、赤血球値の低下が見られた (いずれもDFGOT vol. 9 (1998)) との記載があるが、前2件は投与量が区分2のガイダンス値をこえており、イヌの試験では1頭のみ結果である。以上の結果からはデータ不足により分類できない。
誤えん有害性	該当情報なし。(分類できない)

12. 環境影響情報

生殖毒性	短期: 甲殻類 (オオミジンコ) の24時間EC50 = 65 mg/L (急性) (IUCLID, 2000) から、区分3とした。 長期: 急性毒性区分3であり、急速分解性がない (OECD301D準 (慢性) 抛: 28日後の分解率約40% (IUCLID, 2000)) ことから、区分3とした。
残留性・分解性	上記
生体蓄積性	該当情報なし。
土壤中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の付属書に列記されていない。(分類できない)

13. 廃棄上の注意

化学品, 汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄, 又はリサイクルに関する情報	都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。 空容器の処理を委託する場合は、内容物を完全に除去すること。
---	---

14. 輸送上の注意

国連番号	—
品名(国連輸送名)	—
国連分類	—
容器等級	—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規制に従う。
海上輸送	船舶安全法の規制に従う。
航空輸送	航空法の規制に従う
応急措置指針番号	—

15. 適用法令

化学物質管理促進法 (PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 [2-アミノ-2-メチルプロパノール] [施行令別表9] (2025年 (令和7年4月1日)以降) 危険性又は有害性を調査すべき物 [2-アミノ-2-メチルプロパノール] (2025年 (令和7年4月1日)以降)
消防法	危険物第4類引火性液体第3石油類水溶性

16. その他の情報

引用文献	NITE-CHRIP (製品評価技術基盤機構HP) 化学大辞典 共立出版 Merck Index 13th 化学便覧 丸善
------	--

その他

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。